

地域医療連携推進法人 下関医療圏医療連携推進機構 令和7年度 事業計画

※四角囲みは、医療連携推進方針

1 診療機能の分担と連携強化

(1) 機能分担と連携強化

参加病院の特徴を生かした診療機能の分担と診療連携の強化を推進する。

参加病院それぞれが得意とする診療機能を発揮するとともに、医師の派遣や救急体制の連携により、診療体制の分担や診療連携機能の強化を推進する。

- ・下関医療センターへの医師派遣（整形外科・心臓血管外科）
- ・休日・夜間の二次救急医療体制（病院群輪番制）における診療連携

(2) 空床情報の共有

参加病院間で診療状況や空床情報を共有する仕組みを構築し、患者が安心して医療を受けられるよう円滑な転院調整を実現する。

ア 診療状況や空床情報を共有する仕組みの構築

各参加病院における既存の病床稼働状況のシステムを共有するなど各病院の空床情報等を共有する仕組みを構築する。

イ 円滑な転院調整

共有する情報の更新を定期的に行うことで、参加病院間の連携を推進し、円滑な転院調整を行う。

(3) 相互補完による診療体制の整備

参加病院で有していない診療機能・体制のうち、補完可能なものは、相互補完により診療体制を整備する。

各参加病院において、不足している診療機能や診療機能は有しているものの医師数が少なく患者への対応が困難な診療科については、紹介・転院などにより相互に補完できる体制を整備する。

- ・下関医療センターの地域包括ケア病床への転院

2 医療従事者の相互派遣

参加病院が安定的、積極的に救急医療をはじめとする地域に必要な医療を提供できるよう、人事交流の実施に向け、医療従事者の相互派遣による協力体制の構築を行う。

人事交流の実施にあたっては、参加病院において課題の検証を行いながら、よりよいルールを検討する。

参加病院の統合を見据え、診療体制の変化に対応できる体制を検討する。

3 医療従事者の相互支援及び資質向上に関する共同研修

医療安全や感染対策等に係る研修をはじめとする、医療従事者の各種研修の共同実施などにより、職員の能力研鑽と組織の活性化を目指す。

共同研修の実施にあたっては、参加病院において情報共有を行い、今後共同実施等が可能な研修を検討する。

4 参加病院の経営の効率化

医療機器の更新及び医薬品、診療材料等の調達について、参加病院の統合を見据えた機器の利用手法及び多様な調達手段を検討し、経営の効率化を図る。

医療機器については、参加病院において更新情報を共有しながら、共同利用や調達手段について検討する。また、医薬品、診療材料等についても、参加病院それぞれの調達手段を共有しながら、共同調達の実施について検討する。

5 その他の事業

(1) 地域住民への情報発信

地域医療構想の推進の必要性及び本機構の活動内容を広く、地域のクリニックや住民等に周知するため、ホームページを開設するなど、情報発信を積極的に行う。

(2) 統合に向けた職員数の調整

統合による新病院の運営ができるだけ適正な職員数で開始するために、職種別の職員採用計画について参加病院で協議を開始する。